

NPO 法人 鹿児島技術士の会 講演会事業

演題「低炭素化社会実現に向けた太陽電池の役割」

開催日 平成 22 年 4 月 24 日(土)14:00～17:00

場 所 かがしま県民交流センター(鹿児島市山下町)東棟 4F 大研修室第 3-A
40人程度・・・参加料1000円

共催 鹿児島県測量設計業協会
鹿児島県建設コンサルタンツ協会（CPD 認定申請）

後援 鹿児島県
日本技術士会九州支部（CPD 認定申請）
鹿児島県技術士会
鹿児島県環境技術協会（予定）
鹿児島県建設業協会（予定）

演題要旨

- 1.低コスト太陽電池として今後生産量が増加すると予想される薄膜型太陽電池の製造技術開発にかかわる紹介。具体的にはシリコン薄膜型太陽電池として世界最高レベルの性能と生産性をあわせもったプラズマ CVD 装置の開発経験を中心に紹介します。
- 2.将来の低炭素社会実現に向けて太陽電池が果たすべき役割とその実現可能性に関して、高性能蓄電池開発など現在の周辺技術開発状況とあわせて。

長年にわたる技術開発とユーザの増加や理解が進んだことにより、太陽光発電システムは広く社会に受け入れられるものとなっている。来るべき”低炭素化社会”の実現にはこれに加えて社会の重要なインフラ整備をになう、建設や土木関係技術者の理解と協力が不可欠である。今回の講演内容がこれら技術分野の技術者が興味を持つきっかけとなっただきたい。

講師：田頭 健二（たがしら けんじ）技術士（機械部門），博士（工学）
鹿児島県南さつま市出身 1962 年生まれ。1982 年、鹿児島工業高等専門学校機械工学科卒業。1982 年三菱重工業株式会社長崎研究所入社。
石炭ならびに廃棄物を燃料とする発電用ボイラの開発。PCB 水熱分解処理技術の開発などに従事。2001 年より“大面積アモルファス太陽電池の生産技術開発”および“次世代太陽電池の製造技術開発ならびに工場建設”に従事。
現在、三菱重工業株式会社原動機事業本部再生エネルギー事業部太陽電池事業ユニット主席技師。